### sentry-logger-start

セントリー内の特定のロガーが一定のインターバルごとに収集を実行できるように有効化します。

#### 構文

sentry-logger-start [timeout=INT]

オプションパラメータ

**timeout=INT**

秒単位のRPCタイムアウト（デフォルト：30秒）

#### 説明

本コマンドは、セントリー識別子（guid）、ロガー名（name）、収集インターバル（interval）を入力レコードとして受け取り、セントリー内の特定のロガーが指定したインターバルごとに収集を実行できるよう、セントリーに対して非同期RPCメッセージを送信します。

ログプレッソ環境変数 logpresso.core.sentry\_rpc\_parallel は、非同期RPCリクエストメッセージのキュー長を指定するために使用されます。この環境変数のデフォルト値は 100 であり、値を変更することで非同期RPCリクエストキューの長さを調整できます。

RPCリクエストメッセージのキューは、先入れ先出し（FIFO）方式で動作します。たとえば、ログプレッソサーバーがメッセージを送信するセントリーが150台ある場合、サーバーはまず100台のセントリーにRPCメッセージを送信し、RPC応答を待ちます。このとき、待機時間が timeout で指定された時間（デフォルトは30秒）を超えると、そのセントリーからエラーが発生したものと見なします。100台のセントリーのうち32台が応答またはタイムアウトした場合、追加で32台のセントリーにRPCメッセージを送信します。

本コマンドは、セントリーからのRPC応答メッセージを受信した順に結果を出力するため、出力レコードの順序は入力レコードの順序と異なる場合があります。レコードの順序に依存せず、出力データ自体を利用してください。

入力フィールド

本コマンドは、入力レコードに guid、name、interval フィールドの値が必要です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| フィールド | 型 | 説明 |
| guid | 文字列 | セントリー固有識別子（JavaのGUID形式とは無関係） |
| name | 文字列 | セントリー名前空間内で一意なロガー識別子 |
| interval | 32ビット整数 | ミリ秒単位の収集インターバル |

出力フィールド

本コマンドは、エラーが発生した場合、元のレコードに \_error フィールドを追加して出力します。発生しうるエラーは以下の通りです：

|  |  |
| --- | --- |
| エラーメッセージ | 意味 |
| guid is null | 入力レコードの guid フィールド値がnull |
| guid should be string | 入力レコードの guid フィールド値が文字列でない |
| guid should be non empty string | 入力レコードの guid フィールド値が空文字列 |
| name should be not null | 入力レコードの name フィールド値がnull |
| name should be string | 入力レコードの name フィールド値が文字列でない |
| name should be non empty string | 入力レコードの name フィールド値が空文字列 |
| interval should be not null | 入力レコードの interval フィールド値がnull |
| interval should be integer | 入力レコードの interval フィールド値が整数でない |
| logger is already running | 指定されたロガーはすでに実行中 |
| timeout | RPCリクエストのタイムアウト時間を超過 |
| disconnected | RPCリクエスト処理中に接続が切断された |
| not connected | セントリーが接続状態でない |

上記に定義された \_error 文字列以外にも、セントリーがインストールされたシステムの状態によって他のRPC例外メッセージが出力される場合があります。

#### 使用例

すべてのセントリーのロガーが5秒ごとに収集を実行するように有効化します。

sentry| sentry-loggers| eval interval = 5000| fields guid, name, interval| sentry-logger-start